

令和6(2024)年度日本歴史研究専攻授業計画

授業名	近世技術史：近世染織資料の技術分析			
担当教員	澤田和人			
授業概要	墨書銘のある資料を中心とする近世の染織資料について、織法・染法・加飾法の分析方法の習得を目指すとともに、技術の時代的な推移と変化をもたらした要因などについて考察する。講義とともに、実資料を用いた実習を行う。			
教育目標・目的	染織技術について、自身の歴史観をもつようになることを目的とする。染織資料の取り扱い方を身につけるとともに、自ら体系立てて分析できる能力を培う。			
成績評価	出席点（60％）とレポート（40％）。			
授業計画	1. ガイダンス	9. 染の分析 1		
	2. 染織資料の扱い方	10. 染の分析 2		
	3. 染織資料の分類法	11. 加飾の分析 1		
	4. 染織資料の命名法	12. 加飾の分析 2		
	5. 材質の分析 1	13. 仕立の分析 1		
	6. 材質の分析 2	14. 仕立の分析 2		
	7. 織の分析 1	15. 総括		
	8. 織の分析 2			
実施場所	演習室および調査室	使用言語	日本語	
前期・後期の別	後期	対象年次	3, 4, 5	単位数 2単位
教科書・参考図書	講義中に適宜紹介する。			
備考				